

会議録

会議の名称	平成27年度第6回西東京市合築複合化基本プラン策定懇談会
開催日時	平成27年11月27日（金曜日）午後6時から8時まで
開催場所	田無庁舎議会棟4階 第3委員会室
出席者	懇談会：伊村座長、沼本副座長、赤澤委員、有賀委員、伊藤委員、小井沼委員、鈴木委員、高松委員、服部委員、馬場委員、廣田委員、山村委員 事務局：田中文化振興課長、岡本社会教育課長、奈良図書館長、伊田公民館長、越沼文化振興課長補佐兼市民交流係長
議題	議題1 懇談会ワークショップ
会議資料の名称	資料1 これまでの懇談会における議論の概要 資料2 西東京市合築複合化基本プランの骨格（案） 資料3 具体的なプラン検討パターン（たたき台） 資料4 西東京市民会館と田無公民館の利用状況 資料5 合築複合化について（委員提出資料）
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	
○座長： ・開会挨拶 ○事務局： （前回発言の訂正） ・市民会館公会堂を500人以上で利用するとして主催者が事前に申請した件数： （誤）30件 （正）37件 ・上記が利用件数全体（208件）に占める割合： （誤）14.42パーセント （正）17.79パーセント （資料確認） 議題1 懇談会ワークショップ ○事務局： ・資料1～4説明 ○委員A： ・資料5説明 ○委員B： これまでの意見の場所の中に「地域課題の解決」というものがあつたはずですが、資料1では漏れています。「学習拠点としての機能」という見出しの中に追加してほしいです。内容としては、社会教育施設として地域課題の解決を探求する支援を求めたいということで挙げた意見でした。	

さらに、その頭に「住民と自治の参画による」という文言を加えていただければと思います。

また、それを資料2の右側の「支援」の項目でも(3)として追加することを提案します。

○委員C：

以前、図書館のサービスについて、事務局から「一人でいられる」という説明があったように記憶しています。非常に大切なフレーズだと思うので盛り込んでもらいたいです。

また、この「一人でいられる」ということに関連して、私の理解としてはそれぞれの世代ごとの場所をいかに計画するかというのが大事で、小学生の勉強の場や、中高生を対象としたヤングアダルトコーナーがそれに該当するほか、インターネット回線の整備されたレファレンスコーナーの記載は就労者世代や中高生のためのものというように理解しています。

○委員B：

今の発言の中で「一人でいられる」とありましたが、この3館合築を考えたときには「一人で利用できる」とする方が合うのではないかと思います。

また、レファレンスについては、中高生や学生に限らず一般の成人の方も対象として考えるべきものだと思います。

○委員A：

やはり「利用できる」より「いられる」の方が良いように感じます。この間の鎌倉の図書館が発信したメールの例もそうですが、そこに「いられる」ということを大事にしたいと思うからです。それも含めて「利用」ではあるでしょうが、私としては「いられる」というニュアンスを大事にしたいと思います。

○座長：

議論の中でそういった話もあったということはとどめておきつつ「利用」とすることによいでしょうか。

他になれば、資料2・3・5の方に進みたいと思います。

○委員D：

前回の帰りがけに、ホールがなくなってしまうと困るという話を伺って、ショックを受けました。

これまで、中央図書館の現実も見えていただき、私たち図書館協議会が議論してきたことを皆さんにお伝えし、必要なところはどこかということをお話してきたつもりですが、改めて皆さんと考えていければと思います。

資料3に挙がっている4案のうち、C案やD案では、中央図書館についてこれまで議論してきたこと、それから中央図書館を充実させることによって西東京市の図書館サービスを全市民に対して向上していこうという観点からいうと、ここに新しいものをつくろうと思える内容ではありません。D案はそれぞれの要素がバランスよく入っているように

も見えますが、このような形になることが最も恐ろしいです。中央図書館としては、ぜひA案かB案で考えていただければと思います。

先程も話題に出た世代別のサービスについても、今、図書館の方で議論がされていますが、C案やD案ではその準備をするためのスペースも確保できないように思います。

図書館協議会としてお話すると、利用者としての声のように受け取られてしまいがちで心外で、実際に、私は中央図書館を利用していないのですが、西東京市の図書館サービス全体を向上させることを考えて発言しています。

今、次期「子どもの読書推進計画」の検討を進めていますが、その中では小さい子どもへのサービスを充実させていこうという考えから、西東京市が推薦する絵本のパックをつくるとか、学校向け図書の最適なセットをつくるというような話が出ています。これらはバックヤードがないとできないものばかりで、今の中央図書館の事務室や書庫の状況の中で具体化していくのは難しく、あまり広さの変わらないC案やD案ではできません。

ホールは別の場所で考えていただくか、そうでなければ、この懇談会ではホールを中心に据える案と中央図書館中心の案とを並び立たせるようにしていただきたいです。

○委員C：

資料2の施設ハードに求められる基本要件の中に、一人でいられる空間を設けると、世代別の居場所が確保されるということ、その上で世代間の交流が図られるということ、この3つの考えをきちんと持っていないといけないと思うので、盛り込んでください。

○座長：

表現は事務局の方で考えて、次回提示してください。

○委員E：

資料3のC案で「特徴・長所・課題」のところに「蔵書能力は現状の蔵書数から若干増にとどまり、同規模市の平均的な能力を大きく下回る。」とありますが、C案は現状より300平方メートルも図書館面積が拡大する内容です。それでも「大きく下回る」のでしょうか。

○事務局：

多摩26市の中央図書館の平均は3,327.8平方メートルになります。西東京市は現状5番目に小さく、規模・収容能力とも小さい状況です。

○委員E：

ちょっと理解しづらいですね。面積が取れなければ、高さを上げることで吸収できるのではないのでしょうか。

図書館については、これまでも色々と課題があり、長いこと解決しないできているし、図書館協議会の委員の方のお話も伺って理解はしてきたつもりですが、C案やD案では全く話にならないと言われてしまうと、市民会館の利用者を背負って出てきている立場としては申し訳なく思うのです。

私は、もともと3館を合築することは無理だといってきました。それでもどうにかす

るんだということであれば、それぞれの部分に無理な部分が出てくることは仕方ないと思います。

そこで、何をどう削るのかというときに、「中央図書館だから」と「中央図書館として100パーセントのものができないなら要らない」というのは違うのではないかと思います。

委員から提案があったように、1,000人規模のホールは別の場所での建設を考えるとすることも案としてあると思いますが、では、いつなのか、それまで今の利用者はどうするのかということも言っていたかないと困ります。そうでなければ、これまで市民文化の花を咲かせてきた人たちに申し訳ないように思います。

当初は、私も市民会館の今の規模と機能をすべて守るんだという気持ちでいました。しかし、図書館・公民館についての様々な意見を伺って、それが積み重なっていく中で、市民会館だってトイレが汚いとか外から見えるとかいう課題があるが、それを言うてどうするのか、ホールだって音響や客席、舞台など、それぞれあれでいいのかということがあったにしても、皆が少しずつ我慢しなければならないのが3館合築だと思ってきました。

ただ、それで本当によいのでしょうか。市民会館についてさらにいえば、現在の体育室やプレイルームといった稼働率の高い部屋は、資料3の各案に対応する部屋が設けられていないように見えます。ですから私は3館合築を進めてよいのか、未だに疑問です。

○委員F:

確かに、体育室では、市民会館の現地視察をした際、子どもたちが活発に活動していたにもかかわらず、これまでこの懇談会では議論に余り出てこなかったなと思いました。

この場は、既に3館合築が是か非かを議論する場ではないはずです。最終的にどうなるかは別にして、建て替えるとしたらこうでありたいということを話し合うことを大前提に皆さん集まっているんだと思っています。

一つ思うのは、中央図書館、公民館、市民会館が対立するというような構図は違うのではないかと思います。中央図書館は市民みんなのものであり、私のように中央図書館を使わない、他の図書館の利用者にとっても、中央図書館には機能としてしっかりしていてもらわなければ困るのです。

私たちは、ここで個人の立場ではなく、市民全員の立場から話さなければならないし、これからの子どもたちに何を残すべきかという視点からも考えていかなければなりません。

現状では多摩26市で5番目に小さい図書館を充実させ、閲覧室や座席を増やすことで、これまで利用していなかった人も来やすくなり、ゆっくりと滞在して読書できるようになる、そうすることで利用を伸ばしていくこと、今は施設を利用していない人たちが利用できるようにしていくことが必要なのではないでしょうか。

スポーツ利用については、多目的なフリースペースがあれば、そこに畳を敷くことで対応できるのではないのでしょうか。現に学校ではそのように対応していると思います。

また、会議室の区切りも可動式にすれば、単独で20人とかで使うことも、いくつかつなげて100人で使うこともできるでしょうし、舞台もA案・B案にあるようなものにすれば、規模や数は皆さんが使いやすいように考えるとして、鏡の前でダンスを踊ったりで

きるようにすれば、現状で高い利用率となっているところの利用も補えて良いのではないかと思います。

○委員C：

先ほど委員がおっしゃったように、図書館・公民館・市民会館がそれぞれ我慢しながらやっていくのは残念な形であることは理解してはいますが、ここに出ている4案の特徴について、先ほど事務局からも説明がありましたが、私なりの整理をコメントしたいと思います。

まず、各機能が我慢し合っているのがD案に見えます。A案は、中央図書館が単独で誇れる施設になるというものだと思います。B案は、メディアと活動とが大きくなっていて、一人で利用できるというのが本来のサービスである図書館に対して、公民館がともにあって、地域の人材育成や地域課題の解決といった活動に、どれだけ公民館が図書館とリンクしていくのかということを主題に、縦割りを超えて、場合によってはここが新しい中央公民館になるというような議論があってもよいような気がします。C案は、公会堂を500人規模でしっかり整備するもので、相対的に小さくなる中央図書館は、地域資料の収集等はしっかりやるとしても、蔵書数では市の目標に届かないことになるでしょうから、それは他の図書館で対応するとか、別の手立てを考えなければならないということになるんだと思います。

また、市民会館のうち公会堂以外の諸室についても、たたき台の案は示されてはいますが、どのようなものが必要なのか、もう少しつつこんだ議論ができるとよいと思いました。

○座長：

A案が図書館充実型、B案は図書館・公民館リンク型、C案はホール重視型、D案はバランス型、悪くいうと我慢型、といったところでしょうか。

○委員C：

加えて言うと、ここではAからDのどれが良いという議論ではなく、A案ではこんなことができる、B案ではこんなことも考えられるというように、それぞれの案について議論していけるとよいと思います。

○委員G：

図書館は一人で利用する、公民館はグループで利用するということなのであれば、個人利用の学習室は、図書館の側に含めてはどうでしょうか。

実習室について、現在ここを利用している団体からは、実習室が使えないときには他の部屋を使うが、養生をしなければならないためデッサンくらいしかできないとの声があります。合築複合化で利用団体が増えると考えれば複数必要になるかもしれません。

ホールについては、練習会場として利用しているときには、当然観客数はゼロですよね。それから、中学校から吹奏楽の定期演奏会などで利用したいという要望は今現在あるのでしょうか。

資料2の冒頭（理想とする施設の姿）のところですが、教育施設であるという点は外せないところだと思います。

○事務局：

市内中学校のニーズとしては、こもればホールの利用はありますが、市民会館へのニーズは把握していません。一方、市外の高校の吹奏楽で市民会館公会堂が利用されたという実績はあります。

○副座長：

私は、資料2の基本プランの骨格というものをよく考えた上で、資料3の4つの案を考えた方がよいと思う。

私としては、ホールのないAとB、ホールのあるCとDは、それぞれ余り変わらないと思います。これからは、4案を並べてではなく、A・BかC・Dかの2つで、さらにそれぞれの機能の中身として新しいどんなことができるかについて、発展的な議論をしていくべきではないでしょうか。

○委員H：

これまで、もう2つもホールがあるじゃないかということから議論されている部分もあると思いますが、2施設にはそれぞれ欠点もあるので改めて指摘しておきます。

こもればホールは、音響は非常によいものの、交通が不便で、中規模利用にしか対応できません。コール田無は、舞台が非常に些末で、控室など一切ありません。そのため使う側としては非常に使い勝手が悪く、この2施設があるからもうホールは要らないというのは、ホール利用者としては受け入れがたいということを認識していただきたいと思います。

また、中央図書館について、資料3では蔵書能力の比較が示されていますけれども、冊数をとにかく増やすということではなくて、何か特定の分野の資料の充実を図るなど、特徴を出していくという考えはないのでしょうか。

○事務局：

現在も6館の中で分担収集をしています。

中央図書館には他の館にはないものを置いています。地域ごとにニーズを踏まえた資料購入をしていますが、毎年度それとほぼ同規模の廃棄も行っており、何でもとっておいてあるわけではありません。地域の図書館には入りきらないけれども残しておくべきものを中央図書館でもとっておいて、利用の希望があったときに近くの地域図書館に配送するという形で対応していますので、やはり中央図書館には相応の規模の蔵書の厚みを確保しておく必要があると考えています。

○委員A：

地域の資料についての中央図書館の役割も教えていただけますか。

○事務局：

西東京市のことについては、田無・保谷に遡って調べられるということを保証する必要がありますが、これは他の図書館に任せられることではありません。

直近の情報については各地域館にも置いています。1冊しかないものなど最終的にはすべて中央図書館に永年保存しています。

○副座長：

もうそろそろ議論の方向性を絞り込んでいき、その上で新しく何ができるか、未来に向けての議論をすべきだと思います。

○委員I：

副座長の話に大賛成です。

資料3には面積のパーセンテージが記されており、どうしてもそれに目をとられてしまうので、外してしまった方が良いと思います。

それよりも中央図書館にはどういう資料をおくのかを示し、そのためにはどのくらいの蔵書能力が必要かというように話を進めた方が良いでしょう。

ホールをつくる場合とつくらない場合にわけて、それぞれの課題と対応を議論していた方がよいと思います。

このままでは、この4案から1つに決定することはできないし、仮に1つ選ばれ、それに基づいた素案がまとめられたとしても、未来的な合築案にはならないのではないかと懸念があります。

○座長：

それでは、残りの時間、A・BグループとC・Dグループのそれぞれにどのようなメリット、デメリットがあるかここでディスカッションできるといいのですが。

○委員G：

1点、委員提案資料の5番の記載に関連して確認したいのですが、この3施設は一定の強度を有していて、もう壊れて使えなくなってしまうということではなかったように思うのですが。

○事務局：

施設の老朽化も進む中で、市民会館における未利用スペースの課題なども含めて解決する手法として合築複合化が考えられたものです。

○委員H：

合築そのものが不可能だということに賛同する方が多いのか、この4案のどれか、あるいは折衷案にせよ、何らかの決着させるべきと考えている方が多いのか、そのあたりはどうなのでしょう。

○委員D：

中央図書館は、今の場所を出なければならず、その場所は市民会館の場所だと聞いて、この懇談会に参加しています。

中央図書館がなくなってしまうと、西東京市の図書館サービス全体が低下してしまいますので、新しい施設を作ることであれば、本来のあるべき形での中央図書館が整備されるようにしたいと考えています。

そのため3館合築という形が良いと考えているわけではありません。ただA案かB案のように、中央図書館としての機能がしっかり整備されるということであれば、駅から少し離れることにはなるとしても、移る価値もあるのかなと思います。逆に言うと余り広

くならず、機能の充実も図れないような形であれば非常に残念だと思います。

したがって、3館合築という形をとるのであれば、メディア重視、A案かB案でと考えています。

○委員B：

今は市民会館の場所での合築を検討していますが、まだ庁舎問題も整理がつかない中で、E案として、別の広い場所での合築も考えられたら、全部が共有できるような場所も検討できると思うのですが、いかがでしょうか。

○座長：

それはこの懇談会に託されていることとは違うと思います。

○委員A：

せっかく今までやったことのないことをやるのですから、西東京市として後世に残せるものを、この会合で出せないと意味がないと思います。3つがそれぞれ我慢し合うようなものではなく、つくる以上はこれだというものをつくってほしいと思います。

○副座長：

図書館とか公民館の側の方々が、これから市民のためにどのような活動をしたいのかとかいう話が出てきていませんが、これからもっとそのあたりについて発言が出てくると、皆さんの理解が進むのではないかと思います。

○委員F：

図書館で何ができるかは私たちが考えることであり、図書館長が示すべきものではないと思います。私たち市民の側が、今やっていないこと、例えばビブリオバトルとか、図書館と公民館の共同でこういう事業をやってほしいとか提案するのであって、そういうことを多様に考えられる環境を用意するのがこの会議だと思います。

一つ言えることは、より多くの、今は使っていない方も利用できるようにするための提案は行政の側が考えることかもしれません。

○副座長：

そういうふうには考えてはいなくて、これからの図書館としてこうあるべきだということは、図書館協議会で話し合われていると思いますから、皆さんにはそれを出していただければということを言っているんです。

○委員F：

私個人の意見としては、社会教育委員の方で地域循環型学習ということを提案しましたけれども、そういうことができる、人が集まれるスペースですとか、図書館と公民館との連携がしやすくなるような事務室の配置といったことが必要なことかなと思います。

○委員D：

図書館協議会で話してきたことはありますが、それをこの場で私が話していくという

のは、私の中では違うように思います。

図書館協議会として、これまで提言や事業評価もしてきましたし、今後の計画づくりにも参加していますが、そのことについて、この場で、何をどこまで話してよいのか、私にはよくわかりません。

また、もし、例えば今つくっている読書推進計画について話すとすると、10分ではおさまりません。そういう会を設けるということであれば、皆さんにお見せしたい資料もありますが、既にこの会はそういう時期にはないように思います。

○委員E：

委員の中央図書館に対する思い入れはよくわかりましたが、面積的なものではないことで、できることはないのでしょうか。

3館合築で面積が足りない中で、理想としているものを何か他の形で対応できる知恵はないのかと思います。

○座長：

これまで皆さんからたくさんの意見を出していただきましたので、これまでの議論を踏まえて基本プランのたたき台をまとめてもらおうと思います。

そろそろ次の段階に行かないと堂々巡りになってしまうと思うのですが、いかがですか。

○委員H：

半年くらいで我慢しあったものをつくるのではなく、暫くは今の施設を使いながら、もっと時間をかけて、しっかりとしたもの考えた方が良いと思います。

○委員C：

A案でできること、B案でできること、C案でできること、D案でできること、それぞれ違うと思うんです。その中で我慢するのではなくて、最大限何が出来るのか、どういう方向を目指すということが出来るのかということをいったんまとめるべきだと思います。

ABなのかCDなのかという話がありましたけど、C案はC案できちんと考えて、500席の公会堂を計画したときに他の施設がどうあるべきなのかを考えるべきであって、そのことを形にしないと、逆に言うと何の意見も集約されない盛り込まれないバツ案みたいなものが、言い方は悪いですが、役所主導で計画されて、市民の方のどの立場でも喜ばれないということになるのを避けたいと思います。そのためこの場があると思うので、形にすることは非常に意味があると思って参加しています。

○委員B：

基本プランの骨格というところに、何か骨となるものがないと、これだけではどんな施設になるのか不安になります。

図書館・公民館に社会教育施設ではない市民会館が加わることで、どんなことができるのか、新たな機能を備えた社会教育施設として可能性を見出す施設として検討しているかと思いますが、やはりその根底に「活動」であり「交流」でありというものがあるということが、このプランで出来る施設の目玉になっていくのではないかと思います。

この3つの施設を合わせたときに何ができるかという、やはり、協力し合い、利用し合うことだと思います。その中で、図書館と公民館と連携していくこともできるでしょうし、前向きに考えるとすれば、この施設で一番の売りにしていくことは「交流と活動を活かす場」であるということをメインにしていくとよいのではないかと感じました。

○委員D：

先ほど委員から言われたことについてですが、やはり譲れないものは譲れません。

それから今の「交流をメインに」という意見に対しては、やはり図書館は一人でするところですので、スペース的にも機能としても、並び立つものが欲しいと思います。

中央図書館であることを考えると、やはりC案やD案になったときには、別に中央図書館をつくってくれるんですかという議論になり、それがいつ・どこにということが確保されるのは難しいんだろうと思っています。お話を進めていくのであれば、いずれかの案に決着していくんだとは思いますが、その案を選択した場合の課題も併記するような形にしていきたいと思います。

○座長：

先程ABかCDかと言う話はありませんでしたが、この懇談会では、四つなのか三つなのか五つなのかはわかりませんが、並列の結論でいいと思っています。ある程度は集約できて、一定のベクトルが出ればよいというのも理想としてはありますが、案を並べて、それぞれの長所や課題といったものを明記して示せばよいと考えています。

皆さんにもかなりのご負担をかけて大変だとは思っていて、何かしらこの会としての結論は示すべきかなと思っていますので、これまでの議論を事務局の方でまとめて、たたき台を作ってもらって、また次のときに、並列案で議論できればいいかなと思っていますが、そういう方向でよろしいですか。よろしければ、その方向でお願いします。

○事務局：

- ・ 日程調整

次回：12月18日（金曜日）午後6時から

以上